

指定管理業務点検・評価シート（令和7年度業務）

令和8年7月28日

施設名	とっとりバイオフィロンティア	所在地	米子市西町86番地
施設所管課名	商工労働部産業未来創造課	連絡先	0857-26-7564
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	令和6年度～令和10年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積：1,260.84㎡ ○施設内容：研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4、管理室1、オープンラボ1
利用料金	（別表のとおり）
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、セキュリティカードを使用することで、開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、セキュリティカードを使用することで、休館日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理に関する業務（施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等） ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務（利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務） ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務（相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等） ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	シニア職員：1名、プロパー職員：1名、無期職員：1名、任期付職員：7名〔計10名〕
	【体制図等】 施設長（バイオフィロンティア推進室長兼務、シニア職員） サブマネージャー（副施設長兼副室長、任期付職員） 機器担当スタッフ（無期職員） 総務管理スタッフ（任期付職員） 会計担当スタッフ（任期付職員、機構本部駐在） チーフコーディネーター（事業推進担当、任期付職員） バイオフィロンティア推進室グループ長（プロパー職員） コーディネーター（人材育成担当、任期付職員） コーディネーター（研究支援担当、任期付職員） コーディネーター（医工連携担当、任期付職員）

4 施設の利用状況

利用者数（人） ※貸実験室等入居者含む		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R7年度	2,211	2,387	2,346	2,571	2,424	2442	2,547	2,372	2,418	2,156	2,039	2,235	28,148
	R6年度	2,172	2,205	2,239	2,315	2,199	2,167	2,206	2,127	2,243	2,182	2,138	2,258	26,451
	増 減	39	182	107	256	225	275	341	245	175	△ 26	△ 99	△ 23	1,697

利用料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R7年度	1,812	1,555	1,828	1,912	2,031	1,809	2,228	1,782	1,901	1,736	1,738	1,745	22,077
	R6年度	1,912	1,464	1,715	1,793	1,921	2,042	1,861	2,017	1,815	2,131	1,592	2,164	22,427
	増 減	△ 100	91	113	119	110	△ 233	367	△ 235	86	△ 395	146	△ 419	△ 350

5 収支の状況 (単位：千円)

区 分			R 7 年度	R 6 年度	増 減
収入	事業収入	賃借料	8,519	8,354	165
		機器使用料	4,679	4,511	168
		その他	154	154	0
		小 計	13,352	13,019	333
	事業外収入	光熱水費 動物飼育管理料負担金収入	9,043	9,311	△ 268
		自動販売機手数料	66	63	3
		県委託料	78,548	62,045	16,503
		小 計	87,657	71,419	16,238
	計		101,009	84,438	16,571
	支出	人 件 費	38,624	26,703	11,921
管理運営費		62,385	57,735	4,650	
計		101,009	84,438	16,571	
収 支 差 額			0	0	

6 労働条件等

確認項目		状況			備考
		無期職員	任期付シニア職員	任期付職員	
雇用契約・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働者 を使用する場合は作成、届 出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	※労働基準監督署長への 届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	7. 75時間以内／日、 38. 75時間以内／週	7. 75時間以内／日、 38. 75時間以内／週	7. 75時間以内／日、 38. 75時間以内／週	※幅がある場合は上限、下 限を記入
	時間管理の手法	自己申告	自己申告	自己申告	※タイムカード、ICカード、 自己申告、使用者の現認 などの別を記入
	休暇、休日の状況	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	※幅がある場合は上限、下 限を記入
給与	給与金額	275千円／月	335千円／月	212～365千円／月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	処遇改善計画との比較	100%	100%	100%	※達成率を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり

- (参考)
- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法に基づくもの）
- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
		3,001人以上（6人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
人材育成	R7年度の人材育成セミナーは、アントレプレナーシップの醸成をコンセプトに新事業を創造し起業に挑戦する人材育成に資する情報を提供し、スタートアップ支援に役立てる内容となるよう視点を置いた。署名な講師陣による ①起業に必要な法務知識 ②基礎研究から社会実装へ ③自社の競争戦略構想（ビジネスモデル構想）のセミナーは、なかなか聞けない講義内容であり大変勉強になったとの声が多数集まり好評を博した。 現地開催と合わせWEBでも視聴できるハイブリット開催を実施した。当日参加できない場合や、繰り返し視聴を希望する受講者への要望に応え、期間限定のアーカイブ視聴も可能とした。 ＜セミナー開催数 15講座 受講者数 延べ725名（アーカイブ視聴も含む）＞ 【内訳】染色体工学技術活用＋リクエスト講座 5回 受講者 274名 バイオビジネス実践＋アントレプレナー講座 7回 受講者 406名 バイオテクニシャン養成＋機器セミナー講座 3回 受講者 45名
設備整備	●入退室管理システムローカル機器を更新 ＜県予算＞ 本システムの耐用年数である10年を過ぎており、突然の故障でセキュリティ管理が不能とならないようにするため取替更新を実施。 ●エアコン老朽化により全館空調設備の更新を実施するための設計 ＜県予算＞ R8年度全館空調機器を更新するための専門業者による設計を実施。 ●細胞培養モニタリングシステムを導入 ＜基金＞ 細胞培養にかかる時間・人手・コストを軽減できるシステムを導入し、入居者の研究ニーズをサポート。 ●3F実験室（4部屋）にCO2インキュベータ（4台）を更新 ＜指定管理料＞ R8年度に県予算で購入予定であったが、故障が発生し、急遽R7年度指定管理費に切り替え更新。 ●職場巡視、化学物質管理委員会、化学物質セミナーを実施し、入居企業や開放機器利用者への化学物質の取扱い、及び実験環境の整備促進を行った。 ●動物飼育室の微生物モニタリングを定期的に行い、SPFグレード相当の品質保証を保持。 また遺伝子組換え実験安全委員会、及び動物実験委員会の運営やコンプライアンスに沿った実験施設運営を行った。
事業化支援	●入居企業の販路開拓に向けた新たな国際ネットワークによる企業連携の構築ができた。（1件） ●バイオ・他分野連携による製品開発と連携体制の構築ができた。（4件） ●新たな技術協力・販路開拓に関連する企業間秘密保持契約が締結の運びとなった。（2件） ●バイオ系専門展示会（BioJapan2025）への共同出展を実施し、販路や技術提携等の支援を行った。（2社出展／商談15件・継続8件） ●新規で出展参加した関西ビジネスマッチングでの展示サポートにより販路開拓支援ができた。（2社出展／商談5件・継続5件）
その他	●細胞培養モニタリングシステム導入に係る管理運用の開始。 ●動物飼育室の停電・水漏れ・温湿度管理システム当の緊急時の連絡体制および環境対策を実施。 ●入居者へ向けて、救命講習会の実施・防災セットの提供を行った。 ●県民へのPR活動として、中高生を対象とした科学ワークショップの開催（1回）、とりだい病院内パネル展示（2回）、県立図書パネル展示1回、とっとり未来産業フェスパネル展示（1回）、鳥大連携環境学習交流会（1回）、中海環境フェアパネル展示（1回）、中海テレビ放映（1回）等を実施した。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	入居者ヒアリングや日々の利用者とのコミュニケーション等で把握
------------	--------------------------------

利用者からの苦情・要望	対 応 状 況
機器利用時間の予約する時に、予約時間のはじまり時間から自動的に1時間の終わり時間設定ができるようにしてほしい。	自動的に終わりの時間設定を1時間後になるように設定した。
入居料の請求書を月初めに発行してほしい。光熱費の請求書は翌月払いにしてほしい。	入居者によって柔軟に対応した。
(1008-00) プレートリーダー (Ensign) のR7.5/27 に実施したメーカ一点検の作業報告書が欲しい。	作業報告書のデータをお渡しした。
カルタヘナ法研究二種省令・告示の改正内容についてレビューしてほしい。	遺伝子協の研修会、および改正点概要について入居企業・利用者への情報提供を行った。
内勤者の人材を見つけてほしい。	内勤者募集の依頼を受け、人材を紹介。フォロー等を行い、新規採用(8/1～)
海外への実験サンプル輸送について、人材育成セミナーで講師をされた方にアドバイスを頂くため、繋がりをつけてほしい。	海外への実験サンプル輸送について、人材育成セミナーで講師をされた方との橋渡しを行い、双方で連携を保たれている。
販売細胞製品についてカルタヘナ法の適用になるかどうかの問合せ	過去の他社事例をもとに、適切に根拠資料をクライアントへ提示すれば適用外として扱える旨回答した。
ムカデが1Fにでるので、ムカデ専用のコールスプレーを調達してほしい。	調達し、お渡しした。
開放機器リアルタイムPCR を使って環境DNA解析を予定している。やり方を教えてほしい。	環境DNA 解析の技術習得を目的とする実験基礎講習(全3回)を実施した。
2階細胞実験室のセルアナライザで臨床検体を使いたい。	詳細を聞き取りし、当該実験は実施不可の旨を回答した。

利用者からの積極的な評価
【展示会について】 BioJapan2025でとっとりバイオフィロンティアブースに共同出展をさせて頂き、目立つ装飾デザイン、遠くからでも分かる看板・サインが来場者の目を引き訪問者も多く大変よかった。LEDパネルも見やすく来客への説明もやりやすかった。バイオフィロンティアスタッフによる手厚いサポート(来場者対応)を頂き、非常に助かり御礼を申し上げたい。 【人材育成について】 科学ワークショップ「DNA探偵団 星空舞をさがせ」に参加し、分かりやすく教えて下さり、初めてDNAについての実験でも安心して受講することができた。見たことのない機器が沢山ありワクワクした。知らない人とも協力しながら実験するのが楽しかった。施設見学や機器なども丁寧に説明して下さい、非常に興味を引かれた。 【施設環境整備について】 動物飼育室の環境整備、2F実験室内開放機器のメンテナンスやごみ処理、消耗品補充などを行っていただき大変感謝する。

9 指定管理者による自己点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕
●県外との連携 ＜沖縄科学技術振興機関への訪問＞ 沖縄科学技術振興センターとの令和6年から交流の流れができており、令和7年度はとっとりバイオフィロンティアから沖縄県へ訪問。「沖縄県健康バイオテクノロジー研究開発センター」「沖縄ライフサイエンス研究センター」「沖縄バイオ産業振興センター」を視察した。その後、沖縄県健康バイオテクノロジー研究開発センターの入居企業と、とっとりバイオフィロンティアの入居企業との共同研究等の連携も進行中となっている。 ●国外との連携 ＜KIMES（韓国）展示会への視察および韓国企業との連携構築＞ KIMESの視察では、韓国の医療制度や美容に関する考え方を把握すること、新たな人脈が構築できた。美容に関する先進国である韓国で大きく事業展開をしている企業が、とっとりバイオフィロンティアの入居企業の研究技術に強い関心を示され、今後の具体的連携に向けた検討が進んでいる。 ●県内企業とのマッチング バイオフィロンティア入居者へのマッチングはもとより、医工連携としての県内企業間のマッチングにも注力した。県内5企業に対し14案件のマッチングができ、バイオ、医療関連への取組みが進行中である。 ●人材育成 ＜人材育成セミナー・科学ワークショップの開催＞ ①スタートアップ支援として、アントレプレナーシップの醸成をコンセプトにセミナーを実施した。研究、企業、実用化、競争力構築、事業化、経営について必要な知識や能力を身につける情報を提供した。受講者は前年度に比し、約30%増であった。 ②中高生向け科学ワークショップの開催については、上限募集9名のところ13名の応募があった。鳥大生を交えた学食での昼食会は大変好評であった。参加者は研究や生物への探求に関心をもつことができ、またの機会にも参加したいとの要望があった。公募ワークショップをきっかけにスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や国際バカロレア（IB）の高校から指導や助言の要請、個別実習やメンタリングの依頼が増え、バイオフィロンティアコーディネーターがそれに応える形で対応に当たった。 ●施設整備 ＜機器設備の導入、更新＞ ①細胞培養モニタリングシステムの導入 CO2インキュベーターからサンプルを取り出すことなく細胞の状態を継続的に観察でき、定性的にも定量的にも細胞の培養状況を的確に捉えられ、細胞培養の状態、細胞数、密度をリモートでモニタリングし、解析することができる。このことにより入居者および利用者の人的な問題やコスト面に対する研究ニーズを大きくサポートできた。 ②3F貸実験室内のCO2インキュベーターの更新 本装置はCO2濃度・温度・湿度を一定に保ち、動物細胞に適した生理的環境を再現するために必要な装置であるが、耐用年数が経過しておりR8年度に更新予定を前に故障した為、R7年度末に県との協議の上、急遽、指定管理費で調達した。 ②動物飼育室の停電、水漏れ、温湿度管理システム等に対する緊急時体制を警備会社とも連携し新設した。 ●PR活動 ①BioJapan2025での展示、パートナーリングシステムで情報交換し、PR活動を行った。 ②とっとり産業未来フェスでの展示、顕微鏡を使用し画像の説明を行った。 ③関西ビジネスマッチングで展示、サポートにより、県内企業の販路開拓に繋がった。 ④中海環境フェアでの展示、環境DNAに関する体験型学習などの活動を行った。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
〔現在、苦慮している事項〕 ●動物飼育室の結露改善への早急な対策 入居企業にとって実験動物は事業のカギを握る生命線でもあり、管理者として飼育室内の温湿度には十分配慮が必要である。しかし、建物の構造上、湿った空気が流入し、飼育室内に結露が多発しており、動物や飼料への影響、壁や天井へのカビ、配電盤内での結露もあり停電や漏電にもなりかねない。 R8年に結露診断調査を実施するが、その結果をもって早急な対策を要望。 〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕 ●事業化支援として、AI等のデジタル技術のより一層の活用・普及

10 施設所管課による業務点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

項 目	評 価	点 検 結 果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) 3階動物飼育室で問題が発生した場合早急に対応するため、動物飼育室の停電や温湿度が異常値になると警備会社に通報するシステムを新たに導入し、通報があった場合は24時間対応できる体制を構築するなど、施設管理体制の充実に努めている。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) 新たにAIを活用した細胞培養モニタリングシステムを導入するなど、近年急成長しているAI分野をバイオフィンティアでどう活用していくか検討が進んでおり、また、バイオフィンティア利用企業のAI活用を促進している。
〔利用者総合支援業務の実施状況〕 ○利用者の研究開発及び事業化推進（事業計画、進捗状況把握等） ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) 展示会などで繋がりを持った県外企業や国外企業との橋渡し役を担うことで、とっとりバイオフィンティア入居企業の今後の企業間の共同研究など具体的な連携に向けた検討が進んでいる。
〔バイオ人材育成事業の実施状況〕 ○人材育成カリキュラム作成・研修実施 ○広報等 ○事業評価、ニーズ把握、効果検証	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) アントレプレナーシップの醸成などコンセプトを持ったセミナーを開催しており受講者からも好評である。また中高生向けワークショップでは鳥大生を交えた昼食会を開催するなど新たな取り組みが見られる。
〔収入支出の状況〕	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔職員の配置〕 ○事業全体の総括責任者 ○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者 ○動物飼育に関する経験者 ○利用者の要望に応えられる体制	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務（利用券、利用券管理簿の管理など） ○必要な規程類の整備（会計規程、協定書等で整備が定められている規程など）	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔関係法令の遵守状況〕	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
総 括	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、
4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
3：おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、
※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。